

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・ 事業所 の特徴	自分や家族・友人が利用したいと思うサービスを提供します。 通所・宿泊・訪問この3つを自由にその方にとって必要な支援を組み合わせ その時の体調や状況によって柔軟なサービスを提供しています。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護深沢	管理者	松田 悠一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援セン ター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	2人	人	人	1人	人	2人	人	8人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模協議会の示しているライフサポートワークについて学び評価の意味を理解する。 ・外部評価（事業所自己評価等）についての学習会を開き、全スタッフで共有する。 	<p>ライフサポートワークや外部評価の学習会を行った。ライフサポートワークは理解を深めるまではいかなかったが、外部評価は全職員で内容を理解して取り組むことが出来た。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で自己評価に取り組んでいる。項目によっては「あまりできていない」「ほとんどできていない」との回答が多い項目もあったが、できていないと評価した項目を検討課題としながらチームワークの醸成に繋げて頂けたらと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所自己評価の改善計画の進捗状況を毎月の事業所ミーティング時に職員間で共有・確認し、計画を進めていく。
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の年間計画を立てる（年間を通じて季節を感じる事ができる） ・植木や花をご利用者が自然に管理できる環境を整え、毎月のミーティングで評価していく。 ・広報担当を決め、年に3回は地域の方に見てもらえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備の年間計画を立てる事は出来なかったが、季節を感じて頂く装飾、雰囲気作りは実践することが出来た。ご利用者からも好評だった。また植木や花をご利用者が自然に管理できる環境を整える事は出来た。 ・広報は担当を決めて発行する事は出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のしつらえは季節を感じさせるものであり、居心地の良い環境作り配慮されていると思う。 ・利用者の方がゆっくりと気楽に過ごせる環境を継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者と一緒に季節の装飾の計画を立て、創作活動や飾りつけを行う。また、毎月のミーティングで評価していく。
C. 事業所と地域 のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者のお住いの町内などでの行事やイベントについて調べ、一覧表を作る。 ・食事会等のイベントがある場合は参加できるように努める。 ・コミセン等と連携を図り「介護保険の事」や「人生の最後をどこで終えたいか」等、地域の方が今聞きたい内容の勉強会の開催に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域のイベントが開催される事が少なく一覧表を作成する事は出来なかった。 ・コミュニティーセンターで開催された作品展や創作活動は感染状況に合わせて参加する事が出来た。 ・コミュニティーセンターで開催された福祉・介護の学習会に参加させて頂き、小規模について説明する機会を頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーセンターとの関係性が良く、地域の活動等に注目している。 ・コロナ禍で地域との関わりが図りにくい状況だが、今後も作品発表の機会などを利用して参加して頂きたい。また地域の方と繋がる機会を継続して持つことで、少しずつ地域に浸透していくと思う。今後も積極的に地域と繋がる機会 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーセンターや地域の行事に、ご利用者と一緒に参加していく。 ・事業所として、地域の活動の中で出来る事をコミュニティーセンターや町内会に発信し、介護教室等の開催に努める。

			を作ってほしい。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅近くの商店街などに一緒に出向き、顔見知りになる。 ・個別の関わりの中でつながりを継続できるように訪問、送迎時に近所の方と話す機会を持ち下地を作っていく。 ・家族や近所から地域の取り組み（お茶会などの集まり等）を教えてもらい、「いつどこでどんなものを」開催しているか一覧表を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅近くの商店街などに出向く事は出来なかったが、訪問や送迎時に近隣の方と挨拶をしたり、話をしたり、関わる機会を持つ事は出来た。また、一人暮らしの方は民生委員の方とも情報交換を行う事が出来た。 ・ご利用者の方が参加されている、地域のサークル活動や老人会の集まりの情報は教えて頂いたが、コロナ禍で定期的には開催されておらず一覧表を作るまでは出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の取り組み情報は、運営推進会議の場を活用する他、町内会長さんや民生委員さんなどと連携していただく中で、地域のイベント情報を収集することができるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の関わりの中でつながりを継続できるように訪問、送迎時に近所の方と話す機会を持ち関係性作りに努める。 ・個別ケアとして、地域への外出を計画し、ご利用者の馴染みのある場所や興味のある場所に出向いていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の目標を共有し、目標達成のための取り組みについても報告し意見をいただく。 ・ご利用者に必要な支援について検討することによって、地域の課題をみつけ情報共有を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面での開催が多くなったが頂いた意見等は事業所内で回覧し職員間で情報の共有を図った。 ・地域の課題や利用者の支援について等、詳しい事例検討までは行かなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の懸案でもある事例についての意見交換だったことから、活発なご意見が出されていた。 ・引き続き、課題共有することで、地域と相互連携を図って頂きたい。 ・多くの職員が運営推進会議に参加し、意見交換等を行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの職員が運営推進会議に参加する機会を作る。 ・事業所の支援事例を通じて、地域の困りごと等の共有や検討を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーセンターなどに声を掛け、コミセンの防災訓練を見学させて頂き、サポートセンターの防災訓練に参加していただく。 ・一人暮らしの方の近所の方に災害時に本人の様子をすぐに確認できるように連絡体制を整えて事業所の防災計画に盛り込んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルスの関係で、防災訓練を見学して頂く事は出来なかった。 ・一人暮らしの方は、民生委員の方と災害時の対応について連絡体制等を確認する事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災を想定した避難訓練でも、出火場所や避難経路を変更して行うなど、様々な状況を想定した訓練を行って頂きたい。 ・火事、水害、地震に対する備えの他、雪害に対しても対策検討をお願いしたい。 ・訓練だけでなく、備蓄品の確認や使用方法の確認も行った方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が生活されている地域の防災訓練に職員を参加させて頂き、地域の災害時の対応を知る。 ・事業所における防災訓練で避難訓練の他に水消火器を使用している訓練等をご利用者と一緒に行う。